

徳島市における 在宅医療連携拠点病院の活動

在宅医療連携拠点病院
医療法人平成博愛会 博愛記念病院
看護師・介護支援専門員
藤原美恵



徳島市 眉山と吉野川



人口約26万人余り
県人口の約3割が集中

地域の大規模多機能センター

介護老人保健施設

ケアハウス

グループホーム

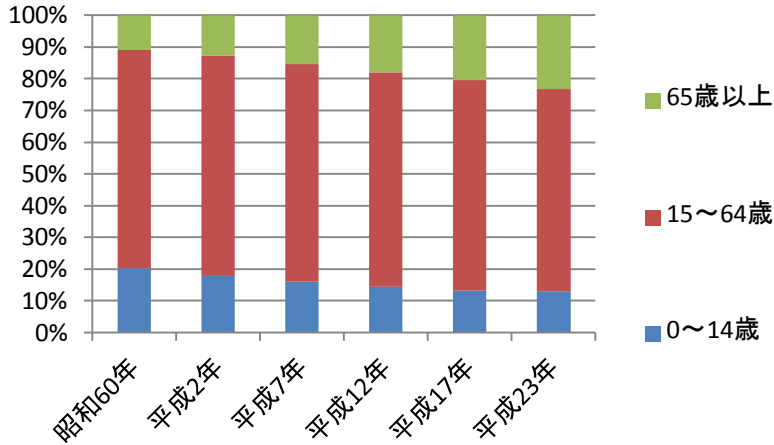
博愛記念病院・
健診センター

介護老人福祉施設

デイサービスセンター・
住宅型有料老人ホーム

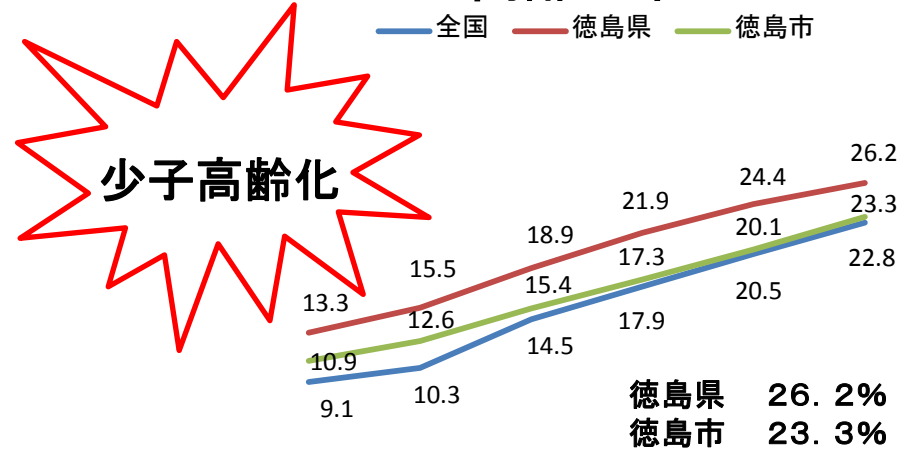
徳島市の現状

人口推移



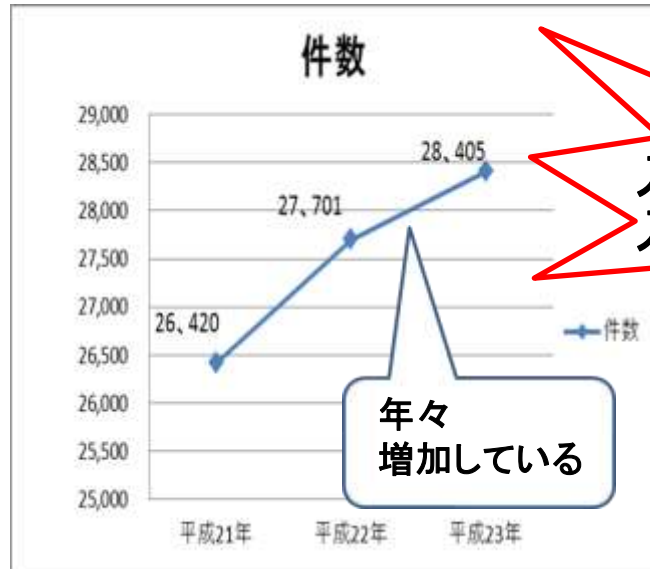
0~14歳 ⇒ 減少
65歳以上 ⇒ 増加

高齢化率



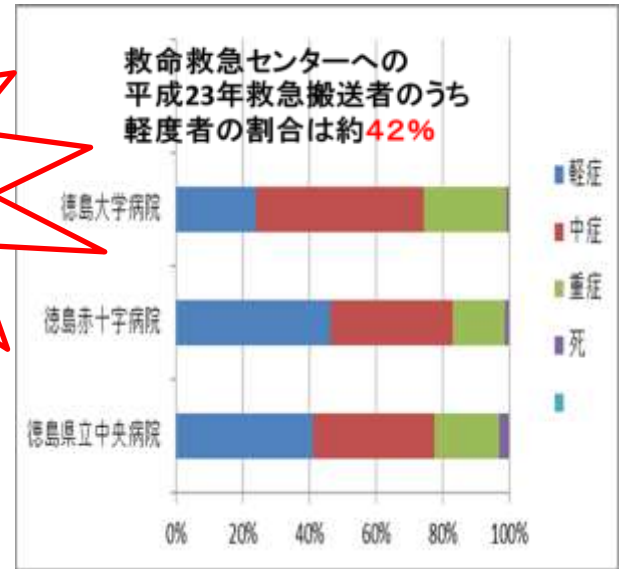
昭和60年 平成2年 平成7年 平成12年 平成17年 平成23年

救急患者搬送数の推移



入院の必要な人が
入院できなくなる

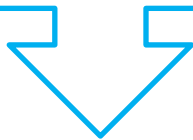
救急搬送患者における 軽度者の割合



徳島市後方支援病院緊急ネット

後方支援病院にアンケートを実施

地域の診療所の先生方と
後方支援病院をつなぐ



Back Bed Emergency Net

病院の体制	① A 病院	② B 病院	③ C 病院	④ D 病院	⑤ E 病院	⑥ F 病院	⑦ G 病院	⑧ H 病院	⑨ I 病院	⑩ J 病院	⑪ K 病院	⑫ L 病院
1 緊急入院受け入れ	○	△	○	○ <small>（床は確保）</small>	○	○	△	○	△	△	△	○
2 緊急時の送迎	○	△	△	×	×	△	×	△	×	×	△	×
3 後方支援のための空きベッド確保の有無(ベッド数)	有 (2)	有 (数)	有 (3)	有 (2~)	有 (1~)	有 (3)	有 (2)	×	有 (1)	×	×	可能(1) 確保できず
4 診療所医師への病床オープンについて	○	△	△	×	×	○	×	△	○ <small>(1) ケースあり</small>	×	△	△
5 緊急時の依頼診療への対応について	○	△	△	○ <small>(平日・土曜日の夜間・日曜日に)</small>	×	△	△	△	○ <small>(2) 休日でも対応可能</small>	△	×	○ <small>(3) 対応可能</small>
6 単純X線検査	○	○	○	○	○	○	△	△	○	△	○	△
7 CT	○	○	△	○	○	○	△	△	○	×	×	△
8 MRI	△	○	△	○	○	×	×	×	×	×	×	×
9 血算	○	○	○	○	○	△	○	○	○	△	○	×
10 生化学	○	○	△	△	○	△	△	△	○	△	△	×
11 血液ガス分析	○	○	△	△	○	△	△	○	×	△	×	×
12 心電図検査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13 注射・点滴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14 画像処置	○	○	○	○	○	○	○	○ <small>(1) 確保可能</small>	○	○	○	○
15 中心静脈カテーテル挿入	○	○	△	○	○	△	△	△	△	×	△	△
16 心肺蘇生、気管内挿入や人工呼吸器	○	○	○	○	△	△	○	△	○ <small>(1) 人工呼吸器は確保可能</small>	△	△ <small>(2) 人工呼吸器あり</small>	×
17 内視鏡的処置(止血・胃腸活発)	○	○	△	△	△	×	△	△	×	×	×	×



患者（利用者）様



理事長：武久 洋三 考案

受診・往診など診察

地域の開業医など(相談者)



紹介

依頼



在宅医療連携拠点病院
博愛記念病院
コーディネーター

24時間365日



088-669-3378

連絡調整



後方支援病院（現在12病院）

地域医療・福祉関係者交流会議



とくしま在宅医療・介護連携会議 徳島往診クリニック共催



在宅医療連携セミナー



市民公開講座



BBEN 依頼状況

平成24年10月～平成25年3月

月	依頼件数
平成24年10月11日～	2件
11月	3件
12月	5件
平成25年 1月	4件
2月	5件
3月7日現在	2件
合計	21件

事例①

依頼日：平成25年1月17日 16時ごろ

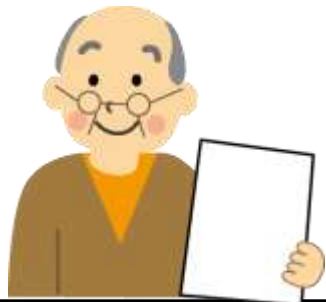
依頼元：A診療所かかりつけ医

紹介患者様：87歳 男性 有料老人ホーム入居中であった。紹介日前日より39.3度の発熱があり、内服治療を行っていたが、解熱せず、レントゲン検査にて肺炎疑いの診断を受ける。心配されたご家族が入院を希望され依頼となる。

コーディネーター：後方支援病院に受け入れ打診し、6病院目で受け入れ可能

紹介先：B病院 即日入院

退院日：平成25年1月22日 有料老人ホームへ退院となる。



事例②

依頼日：平成25年2月26日 15時ごろ

依頼元：C居宅介護支援事業所 ケアマネジャー

紹介患者様：88歳 男性 自宅で妻と二人暮らしであった。脳梗塞後遺症・アルツハイマー型認知症で、要介護4の認定を受けており、ADL面での介助に加え、昼夜逆転・介護に対する抵抗等があり、プライドの高い方である。今回、キーパーソンである妻が体調不良により、療養が必要となった為、レスパイト入院出来るところを探してほしいとの依頼であった。

コーディネーター：後方支援病院に受け入れ打診し、D病院で受け入れ可能となったが、ご家族様の都合で入院に繋がらなかった。さらに別の病院に打診し、個室希望であった為、調整可能になるのを待ち、E病院にお繋げした。

紹介先：E病院に平成25年3月4日
2週間の予定で入院



パンフレット

まずは、お気軽にご相談ください。
 在宅医療連携拠点 徳島市役所
 ☎088-669-3378

住み慣れた家で、安心して暮らすために。

在宅医療連携拠点事業の概要を説明するパンフレットの上部部分。

在さぽネットとは？

世界に類を見ない超高齢化社会の日本において、増え続ける高齢者に対する医療ニーズに対応するため、政府は在宅医療を推進する立場をとっています。そのような背景から、厚生労働省は各都道府県や市町の主要な施設に、在宅医療を支援するよう在宅医療連携拠点事業を委託しています。そして徳島市では、博愛記念病院が在宅医療連携拠点病院に認定されました。在宅医療に必要な多施設・多職種間の連携をスムーズにすることで、安心して在宅医療を継続できるように【在宅さぽーとネット徳島（在さぽネット）】を立ち上げ、様々な取り組みを行っています。

診療所と病院をつなぐ「コーディネーター役」

1. 診療所から在宅生活支援病院へのコーディネーター

在宅医療を推進する理由

高齢者が住み慣れた家で暮らすことは、その人の生活の質を向上させ、医療費の削減にもつながります。また、在宅医療は、高齢者の生活の質を向上させ、医療費の削減にもつながります。

ほかにもこんな活動をしています。

- ホームページでの豊富な情報提供
- 多職種・多職種間の連携強化
- 在宅医療連携拠点の役割

在さぽネット

在宅医療連携拠点事業 在宅さぽーとネット徳島

博愛記念病院
 ☎088-669-3378
 窓口・お問い合わせ >
 活動報告

在宅医療連携拠点病のホームページ

私たちは、地域の患者さまと地域の医療をおつなぎします。

世界に類を見ない超高齢化社会の日本において、増え続ける高齢者に対応するために、政府は在宅医療を推進する立場をとっています。そのような背景から、厚生労働省は各都道府県や市町の主要な施設に、在宅医療を支援するよう在宅医療連携拠点事業を委託しています。

そして徳島市では、博愛記念病院が“在宅医療連携拠点病院”に認定されました。在宅医療連携拠点病院として当院では、診療所と病院、介護施設、訪問サービス事業所などの、在宅医療に必要な多施設・多職種間の連携をスムーズにすることで、安心して在宅医療を継続できるように【在宅さぽーとネット徳島（在さぽネット）】を立ち上げ、様々な取り組みを行っています。



新聞折り込みちらしで
「在宅医療連携拠点病院」
を紹介しました。

- すると、翌朝早速相談の電話がかかってきました。
- ・母が幻覚を見るようになったけれど・・・これって認知症でしょうか？
 - ・脳梗塞後遺症でリハビリを受けたいけれど、どうすればいい？
 - ・言語訓練をしてくれるデイケアはどこにありますか？

在宅医療連携拠点病院のお知らせ



これからも地域の皆様や
医療・介護・福祉関係者間の連携の要として
活動して参ります

ご清聴ありがとうございました

